YAWARAGI NEWS
和
やわらぎ

発行所
株式会社 斎藤工務店
TEL 023(681)7558
FAX 023(681)7559
発行責任者
斎藤恵美子

「こでぇらんねぇ」

住んでみてわかったことも

上山市　黒田欧子

平成十一年九月に入居してから、早九年と半年が過ぎようとしています。

縁あって、斎藤工務店さんイコールFPの家に出会って、本当によかった、と家族で話をしています。特に、おじいちゃん、おばあちゃんは、冬場、家中が同じ温度で、暖かいので、「こでぇらんねぇ。」（いい意味で）

といっています。ただ、いいことばかりではないというのは承知の上でしたが、やはり真夏は暑いし特に二階など暑く、冬寒いんです。あとは乾燥することでしょうね。畳の傷みが早いようです、暑いのと乾燥が原因で、鉢植えの植物も長くもたないというのもちょっと残念です。

今から、FPの家を建てる若しくは改築する方のために、ご参考になるかと思い、こうすれば良かった、という点を二点ほど述べさせていただきます。まずは、風除室的なものを設ければ良かった、という点です。FPの家ならではの高断熱効果を保つには、やはり扉を開けるとすぐに外という構造では、効果は半減します。真冬はせっかく暖まった室内も玄関や勝手口を開けると、冷風が直に入ってくるので、寒いです。真夏はせっかく冷房しているのに熱風が直に入ってきてしまいます。ということで、風の強い場所ではないので除体、玄関、勝手口に風除室のような直接外に出ない工夫が必要だと感じました。次に、玄関の扉は気密性の高いもので重厚なつくりのため、採光部分が少なく、玄関内が暗くなってしまったことです。設計図面とカタログだけでは採光とか明るさに関してのイメージが思いつきませんでした。玄関内を吹きぬけにしたので、若干の採光効果はありますが、目線での採光を考えるべきでした。やはり住んでみないとわからないものです。

最後に、ちょっとした事にでもすぐに飛んで来てくださるスタッフの皆様には、家族一同、常々感謝しております。今後とも末永く、よろしくお願いします。

「貴重なご意見に感謝・今後の参考に」

いつもありがたいご意見に感謝申し上げます。皆様からのご意見を参考によりよい住まいづくりを追求して参ります。

また、FPの家の夏の暑さ対策については、やはり一度入った熱は逃げにくくなりますので、出来るだけ窓からの熱の侵入を防ぐことが大事です。

具体的には、外気温の低いうちに涼しい空気を取り込むことも一つの方法です。

また、窓にはカーテン・オーニング、すだれなどを取りつけることで遮熱効果が高まります。アサガオなどの植物を育てることも一つの方法ですが、それぞれの家の事情により異なると思います。

皆様の家ではどんなことをしておりますかお聞かせ下さい。

風除室の取り組み、また自然採光の取り方など、体験しての貴重なご意見は、今後の住まいづくりに生かして参りたいと思います。

Original Frame & Urethan Panel
F&P FPの家
ウレタン断熱のパイオニア
TOTAL CONSTRUCTION
超高断熱・超高気密・省エネ住宅事業部
(株)斎藤工務店
〒990-0882 山形市大字陣場新田26番地
TEL.(023)681-7558 FAX.(023)681-7559
http://www.fp-saito.co.jp　E-mail:info@fp-saito.co.jp
FPグループのホームページもご覧下さい。http://fp-group.gr.jp/